

## 化学物質等安全データシート(MSDS)

### 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	:水性顔料インク マゼンタ
製品コード	:SPC-0180M, SPC-0494M
会社名	:株式会社ミマキエンジニアリング
住所	:長野県東御市滋野乙2182-3
担当部門	:技術本部
メールアドレス	:ink@mimaki.com
電話番号	:0268-64-2413
FAX番号	:0268-64-5580
緊急時の電話番号	:0268-64-2281
	:(財)日本中毒情報センター 中毒110番
	* 一般市民専用電話
	(大阪)072-727-2499 365日 24時間対応
	(つくば)029-852-9999 365日 9~21時対応
	* 医療機関専用電話
	(大阪)072-726-9923 365日 24時間対応
	(つくば)029-851-9999 365日 9~21時対応
(事故に伴い急性中毒のおそれがある場合)	
推奨用途及び使用上の制限	:水系顔料インク、インクジェットプリンター用

### 2. 危険有害性の要約

#### [GHS分類]

物理化学的危険性	
引火性液体	:区分外
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)	:区分外
急性毒性(経皮)	:区分外
急性毒性(吸入:ガス)	:分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	:区分外
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	:区分外
皮膚腐食性/刺激性	:区分外
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	:区分外
呼吸器感作性	:区分外
皮膚感作性	:区分外
生殖細胞変異原性	:区分外
発がん性	:区分外
生殖毒性	:区分外
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)	:区分外
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)	:区分外
吸引性呼吸器有害性	:区分外
環境に対する有害性	
水生環境有害性(急性)	:区分外
水生環境有害性(慢性)	:区分外

上記で記載が無いものは、分類できない、分類対象外

[GHSラベル要素]

## 化学物質等安全データシート(MSDS)

絵表示                   なし  
注意喚起語           なし  
危険有害性情報       なし  
注意書                 なし

## 3. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区分                   :混合物  
成分及び含有量

成分名	含有量 [%]	官報整理 番号	CAS No.	備考
色材	1-5	-	-	
トリエチレングリコールモノブチルエーテル	約5	(2)-436	143-22-6	
エチレングリコール	5-10	(2)-230	107-21-1	
トリエタノールアミン	<1	(2)-308	102-71-6	
有機成分	1-5	-	-	
グリセロール類	15-20	-	-	
水	残余	対象外	7732-18-5	

## 4. 応急措置

## 吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移動させ、安静にしてください。必要なら医師に相談して下さい。

## 皮膚に付着した場合

水と石鹸で洗って下さい。炎症の徴候がある場合は、医師の相談を受けて下さい。

## 目に入った場合

直ちに、室温、低圧、清浄な水で15分以上、洗い流してください。目の刺激が続くときには、医師の診断を受けて下さい。

## 飲み込んだ場合

水で口の中をうがいし、速やかに専門医の診断を受けて下さい。

## 応急措置をする者の保護

特になし

## 5. 火災時の措置

## 消化剤

化学消化剤、二酸化炭素

## 特有の消火方法、消火を行う者の保護

吸入器具以外の特別な方法を必要としません。爆発の危険性は無いと思われます。

## 消化を行う者の保護

必要に応じて適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用して下さい。

## 引火性

引火性はありません。

## 6. 漏出時の措置

## 化学物質等安全データシート(MSDS)

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

眼にインクが入らないように気をつけて下さい。手についたインクは水と石鹼でよく洗い流して下さい。

必要に応じて適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用して下さい。

### 環境に対する注意事項

下水に流さないで下さい。

### 封じ込め及び浄化の方法・機材

スポンジなどを用いて液体を拭き取り、それを密閉容器に入れ、適切な方法で廃棄して下さい。作業の際には、換気をして下さい。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策:通常の見扱いは必要ありません。

局所排気・全体換気:通常の見扱いは必要ありません。

注意事項:眼や皮膚、衣服等にインクが付かないようにして下さい。また、インクを飲まないようにして下さい。

接触回避:通常の見扱いは必要ありません。

安全取扱い注意事項:カートリッジをプリンタに装着する際には、カートリッジからインクが漏れていないことを確認して下さい。カートリッジを分解しないで下さい。カートリッジを強く振らないで下さい。強く振ったり振り回したりすると、インクが漏れることがあります。

### 保管

保管条件:直射日光を避け、常温常湿で保管して下さい。酸化剤または爆発物とは一緒に保管しないで下さい。

## 8. 暴露防止及び保護措置

[管理濃度、許容濃度]

成分名	管理濃度 (厚生労働省)	許容濃度ACGIH(TLV) 出展先
エチレングリコール	設定なし	100mg/m3
グリセロール(ミスト)	設定なし	10mg/m3

[設備対策]

必要としません

[保護具]

### 呼吸器の保護具

プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。

### 手の保護具

プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。

### 目の保護具

プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。

### 皮膚及び身体の保護

プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。

## 化学物質等安全データシート(MSDS)

## 9. 物理的及び化学的性質

性状(状態、色)	:赤色液体
臭い	:わずかな臭い
粘度	:5mPa・s以下
Ph	:8.5~9.9(20℃)
沸点(初留点及び沸騰範囲)	:有効データなし
引火点	:95℃までの測定において検出されない (closed cup, ASTM D3278)
燃焼又は爆発範囲の上限下限	:なし
蒸気圧	:有効データなし
蒸気密度	:有効データなし
比重(密度)	:約1.07
溶解度	:∞
n-オクタノール/水分配係数	:有効データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性(危険有害反応可能性)  
 一般的な貯蔵・取り扱いにおいては安定です。  
 避けるべき条件  
 一般的な貯蔵・取り扱いにおいてはありません。  
 混触危険物質  
 酸化剤、爆発物  
 危険有害な分解生成物  
 常温では分解しません。

## 11. 有害性情報

〔急性毒性〕

経口LD50 (rat)	経皮LD50 (rat)	吸入LC50
>2000mg/kg	>2000mg/kg	データなし

〔皮膚腐食性/刺激性〕

Non irritant(ラビット) OECDガイドラインNo.404

〔眼に対する重篤な損傷・刺激性〕

Non irritant(ラビット) OECDガイドラインNo.405

〔呼吸器感作性又は皮膚感作性〕

なし(モルモット) OECDガイドラインNo.406

〔生殖細胞変異原性〕

陰性(エームズ試験による)

〔発がん性〕

## 化学物質等安全データシート(MSDS)

IARC(国際がん研究機関)の発ガン物質(グループ1, 2A, 2B)に分類される物質を処方構成成分として添加していません。

### [生殖毒性]

EU指令1999/45/ECに基づいた危険分類に該当しません。

### [特定標的臓器・全身毒性-単回ばく露]

有効データなし

### [特定標的臓器・全身毒性-反復ばく露]

有効データなし

### [吸引性呼吸器有害性]

有効データなし

## 12. 環境影響情報

### 一般注意事項

- ・漏洩、廃棄等の際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。  
特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

## 13. 廃棄上の注意

当該法規(国・都道府県及び地方の法規・条例)に従って廃棄物処理を行って下さい。  
外部に委託する場合は、内容を明確にしたうえで、産業廃棄物処理業者に処理を委託して下さい。

## 14. 輸送上の注意

国際規制	:該当しません
国連番号	:該当しません
品名(国連輸送名)	:該当しません
国連分類	:該当しません
容器等級	:該当しません
海洋汚染物質	:該当しません

## 15. 適用法令

消防法	:該当しません
労働安全衛生法	:名称等を通知すべき有害物・・・エチレングリコール、トリエタノールアミンを含有します。
PRTR法	:該当しません

## 16. その他の情報

本データシートは、作成時または改定時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂致します。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものと混合、当社が認めた使用以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。

## 化学物質等安全データシート(MSDS)

## 改訂履歴

Ver.	日付	項目No.	内容
1.0	2010/12/20		新規作成